

市町村名

サービス種類

介護従業者実態把握調査

ご協力をお願い

日ごろは、介護保険行政に、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この調査は、東三河地域における介護人材の確保・定着に向けた支援策を検討するために、東三河地域の介護事業所の雇用実態等を把握するものです。調査結果を踏まえ、東三河広域連合が策定する第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）において対応策の検討を進めていきます。

ご多忙のところ恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 8月

東三河広域連合 介護保険課

記入上の注意

1. この調査は、介護サービス事業所単位で同一敷地内、同一建物内に複数の介護サービス事業所がある場合でも、それぞれの事業所を単位として実施します。
2. 同一の事業所で複数の介護サービスを提供している事業所には、複数の調査票を別々に送付しています。回答する内容については、表紙に記載された介護サービスについてのみお答えください。
※ 例えば、同一の事業所で「居宅介護支援」と「訪問介護」を実施している事業所には、調査票を別々に2通送付しています。宛名ラベルに「居宅介護支援」と書かれている調査票については、「居宅介護支援」に関してのみご回答ください。一方、宛名ラベルに「訪問介護」と書かれている調査票については、「訪問介護」に関してのみご回答ください。
3. 本調査票は、基本的に、各事業所の経営者または管理者・施設長の方がご記入ください。
4. 調査結果は統計的に処理をするため、個々の事業所の回答内容が公表されることはございません。
5. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に封入して、
令和元年8月16日（金）までにご返送（投函）ください。
6. この調査に関するお問い合わせは、下記の担当までお願いいたします。

問い合わせ先 東三河広域連合 介護保険課

〒440-0806 豊橋市八町通二丁目16番地（豊橋市職員会館5階）

電話番号：0532-26-8459

1. 貴事業所の法人形態について

問1. 貴事業所の法人形態をお答えください。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 社会福祉協議会 | 2. 社会福祉法人（社会福祉協議会を除く） |
| 3. 医療法人・医療法人社団 | 4. 株式会社・有限会社等（営利法人） |
| 5. 生協・農協等 | 6. NPO法人 |
| 7. その他（ <input type="text"/> ） | |

問2. 本アンケートを記入する方の職種をお答えください。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------------------------|------------|
| 1. 経営者 | 2. 管理者・施設長 |
| 3. その他（ <input type="text"/> ） | |

※基本的に、各事業所の経営者または管理者・施設長の方がご記入ください。

2. 職員の採用状況等について

問3. 貴事業所における宛名ラベルに記載された介護サービスに従事する職員について、年代別・継続雇用年数別の人数を教えてください。

	年代	継続雇用年数					
		1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	不明
例	20代以下	1人	3人	0人	0人	0人	0人
1.	20代以下	人	人	人	人	人	人
2.	30代	人	人	人	人	人	人
3.	40代	人	人	人	人	人	人
4.	50代	人	人	人	人	人	人
5.	60代以上	人	人	人	人	人	人

問4. 貴事業所における宛名ラベルに記載された介護サービスに従事する職員について、職種・雇用形態ごとの現在募集している人数をお答えください。(人数を記入) 当該サービスの人員基準に関係のない職種について記載があった場合、集計には含めません。

	職員の職種	募集人数	
		正規職員※	非正規職員※
例	〇〇職	3人	5人
1.	訪問介護員	人	人
2.	サービス提供責任者	人	人
3.	介護職員	人	人
4.	看護職員	人	人
5.	生活相談員、 支援相談員等	人	人
6.	機能訓練指導員 (PT・OT・ST等)	人	人
7.	介護支援専門員、 計画作成担当者	人	人
8.	その他の職員 ()	人	人

※正規職員：雇用している労働者で雇用期間の定めのない者。

非正規職員：正規職員以外の労働者（契約職員、嘱託職員、パートタイム労働者等）。

問5. 貴事業所における宛名ラベルに記載された介護サービスに従事する職員に関して、職種・年代・勤務形態ごとに、この1年間（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の（1）採用者数、（2）離職者数、貴事業所が認識している離職の主な理由についてお答えください。（数値、番号を記入）

○離職理由（枠の中に番号を3つまで記入ください）

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 収入が少ない | 2. 業務過多（職員数に対して仕事が多過ぎる） |
| 3. 休みが取れない | 4. 人間関係の問題 |
| 5. 経営理念・施設方針に合わない | 6. 仕事に魅力がない、他の仕事に魅力を感じた |
| 7. 家庭の事情（結婚、出産、育児、転勤、介護等） | 8. 解雇、契約期間満了 |
| 9. 病気、怪我 | 10. その他（ |

	職員の職種	（1）採用者数		（2）離職者数、離職理由 (主なもの3つまで)			
		正規職員	非正規職員	正規職員	正規職員 離職理由	非正規職員	非正規職員 離職理由
例	〇〇職						
	10代	0人	0人	0人		1人	1,2
	20代~30代	1人	2人	1人	2,4,7	2人	1,4,5
	40代~50代	1人	1人	1人	4,6	1人	5,9
	60代以上	1人	1人	1人	10	1人	8
1.	訪問介護員						
	10代	人	人	人		人	
	20代~30代	人	人	人		人	
	40代~50代	人	人	人		人	
	60代以上	人	人	人		人	
2.	サービス提供責任者						
	10代	人	人	人		人	
	20代~30代	人	人	人		人	
	40代~50代	人	人	人		人	
	60代以上	人	人	人		人	
3.	介護職員						
	10代	人	人	人		人	
	20代~30代	人	人	人		人	
	40代~50代	人	人	人		人	
	60代以上	人	人	人		人	

(次ページにも設問があります)

	職員の職種	(1) 採用者数	
		正規職員	非正規職員
4.	看護職員		
	10代	人	人
	20代～30代	人	人
	40代～50代	人	人
	60代以上	人	人
5.	生活相談員、 支援相談員等		
	10代	人	人
	20代～30代	人	人
	40代～50代	人	人
	60代以上	人	人
6.	機能訓練指導員 (PT・OT・ST等)		
	10代	人	人
	20代～30代	人	人
	40代～50代	人	人
	60代以上	人	人
7.	介護支援専門員、 計画作成担当者		
	10代	人	人
	20代～30代	人	人
	40代～50代	人	人
	60代以上	人	人
8.	その他の職員 ()		
	10代	人	人
	20代～30代	人	人
	40代～50代	人	人
	60代以上	人	人

→

→

→

→

→

(2) 離職者数、離職理由 (主なもの3つまで)			
正規職員	正規職員 離職理由	非正規職員	非正規職員 離職理由
人		人	
人		人	
人		人	
人		人	
人		人	
人		人	
人		人	
人		人	
人		人	
人		人	
人		人	
人		人	

問6. 職員の定着に向けて、事業者としてどのような支援が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 新規就業者を対象とした介護技術等に関する合同研修
2. 新規就業者を対象としたキャリアプランに関する合同研修
3. 中堅職員を対象とした介護技術等に関する合同研修
4. 中堅職員を対象としたキャリアプランに関する合同研修
5. 雇用定着をテーマにした管理者等に対する研修
6. 個別の職場・事業所へのアドバイザーの派遣（職員の働き方等に関する助言等）
7. 子育て中の職員に対する処遇改善にかかる補助
8. その他（）

3. 外国人材の採用について

問7. 貴事業所における、介護職員としての外国人労働者受け入れ状況について教えてください。(ひとつだけ○)

1. 現在受け入れているまたは過去に受け入れたことがあり、今後も受け入れを検討している
2. 受け入れた経験がないが、受け入れを検討している
3. 受け入れた経験がなく、受け入れを検討していない
4. 受け入れた経験があるが、今後は受け入れを検討していない
5. その他 ()

問 7-1. 問 7 で 1 または 4 に ○ を つ け た 事 業 所 に う か が い ます。貴事業所で就業歴のある外国人はどのような制度で雇用された方ですか。雇用時点で利用していた制度についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. EPA（経済連携協定）による介護福祉士候補者の雇用・研修
2. EPA（経済連携協定）により介護福祉士資格を取得した外国人の雇用
3. 日本の介護福祉養成校に通う外国人留学生のアルバイト雇用
4. 在留資格「介護」を持つ外国人の雇用
5. 技能実習制度を活用した外国人（技能実習生）の雇用
6. 在留資格「特定技能1号」持つ外国人の雇用
7. 身分に基づく在留者（定住者（主に日系人）、永住者、日本人の配偶者等）
8. その他 ()
9. 不明

問 7-2. 問 7 で 1 または 4 に ○ を つ け た 事 業 所 に う か が い ます。貴事業所で就業歴のある外国人の出身国はどちらですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 中国 | 2. フィリピン |
| 3. ベトナム | 4. ミャンマー |
| 5. モンゴル | 6. インドネシア |
| 7. カンボジア | 8. スリランカ |
| 9. タイ | 10. インド |
| 11. キルギス | 12. その他 () |

問 7-3. 問 7 で 1 または 4 に ○ を つ け た 事 業 所 に う か が い ま す。 貴 事 業 所 で 就 業 歴 の あ る 外 国 人 の 雇 用 形 態 を お 答 え く だ さ い。(あ て は ま る も の す べ て に ○)

1. 正規職員	2. 非正規職員
---------	----------

問8. 貴事業所において外国人の受け入れにあたって課題となっていることを具体的に教えてください。(あてはまるものすべてに○)

(1) 受け入れに関する課題	(2) 受け入れ後の体制に関する課題
1. 受け入れにあたっての手続き・方法	1. 日本語のコミュニケーション能力
2. 受け入れにあたっての費用	2. 生活習慣・文化の違い
3. 受け入れにあたっての情報の入手	3. 介護の考え方・技術等
4. 複数の事業所と情報共有を行う場が無い	4. 緊急時の判断や対応
5. 求める人材像等とのマッチング	5. 外国人職員への指導等による日本人職員の負担
6. その他 ()	6. 外国人からの接遇による利用者の反応
7. 特になし	7. 日本人職員からの不満
	8. その他 ()
	9. 特になし

4. 介護ロボットの導入について

問9. 介護ロボットとは、歩行・食事等の介護される側の動作の自立を助けたり、入浴や車いすへの移乗等の介護する側の仕事を支援する機器のことをいいます。貴事業所での、介護ロボットの導入状況について教えてください。(ひとつだけ○)

1. 現在導入しているまたは過去に導入したことがある
2. 現在は導入していないが、導入を検討している
3. 導入を検討していない
4. 導入したことがあるが、今後は導入を検討していない
5. その他 ()

問 9-1. 問 9 で 1 または 4 に ○ を つ け た 事 業 所 に お 伺 い し ま す 。 貴 事 業 所 で 導 入 し て い る / 導 入 し て い た / 導 入 し よ う と し て い る 介 護 ロ ボ ッ ト は ど の よ う な も の で す か 。 (あ て は ま る も の す べ て に ○)

1. 移乗介助機器 装着型
(介助者が装着し移乗時のパワーアシストを行い、腰の負担を軽減する機器。)
2. 移乗介助機器 非装着型
(ベッドからの抱え上げ動作のパワーアシストを行う機器。ベッドに敷いたシーツごと抱き上げる機器や、ベッドと車いすが一体になっているもの。※据付工事を伴うものや、つり下げ式移動用リフトは含まない。)
3. 移動支援機器 屋外型
(モーター等で移動をアシストし、使用者が一人で用いる手押し車型の機器。)
4. 移動支援機器 屋内型
(屋内の移動や立ち座り、トイレ内での姿勢保持等を支援する歩行支援機器。)
5. 排泄支援機器
(設置位置の調整可能な特徴を持つ水洗トイレ。)
6. 見守り支援機器
(ベッドサイドセンサやドア開閉センサ等により高齢者の状態を検知し介助者に通知する機器。)
7. 入浴支援機器
(浴室から浴槽への出入り動作、浴槽をまたぎ湯船につかるまでの一連の動作を支援する機器。)
8. コミュニケーション支援機器
(利用者の状態や室温等周囲の環境に応じて声かけを行ったり、介助者の代替となってレクリエーションを行う機器。)
9. その他 ()

問10. 貴事業所において介護ロボットの導入にあたって課題となっていることを具体的に教えてください。(あてはまるものすべてに○)

(1) 導入に際しての課題	(2) 導入後の運用等に関する課題
1. 介護ロボットの種類が分かりにくい・知らない 2. (県の補助があっても) 導入費用の負担が大きい 3. 実際に使用しないと便利かわからない 4. 職員の身体的負担が軽減されるかわからない 5. その他 () 6. 特にない	1. 介護ロボットを使いこなせるか不安がある 2. 利用者が不安に思うことについて懸念がある 3. 運用費の負担が大きい 4. 職員の身体的負担が軽減されない 5. その他 () 6. 特にない

5. その他の人材確保策について

問11. 外国人材の受け入れ及び介護ロボット導入以外で、貴事業所が人材確保等において工夫している点を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 日本人の採用の幅 (年齢層) の拡大 2. 新規職員の通年採用の実施 3. 賃金体系の見直しと、離職率を抑えるための施策の実施 4. 住宅手当等住まいに対する支援の実施 5. 事業所内託児所の設置等の育児支援の実施 6. リフレッシュ休暇等、休暇関連の福利厚生の充実 7. その他 () 8. わからない
